

人材育成ゆふいん財団ニュース

The Yufuin Human Resource Foundation NEWS

VOL. 54

今号の主な内容

- 平成21年度 事業計画について・・・1
- 平成20年度 収支決算書について・・・2
- ゆふいんtopic・・・3
「ゆふいん文化・記録映画祭」
- ゆふいん元気！・・・3～4
「第59回ゆふいん温泉まつり」
「平成21年度 春季少年少女球技大会」
「第11回「子どもメン食い絶叫大会」」
「第130回ゆのひら温泉祭り」
- 掲示板・・・4

- 発行日/2009年5月25日
- 第54号
- 発行/(財)人材育成ゆふいん財団
- 発行人/溝口薫平
- 編集責任者/霜野圭一
- 編集/事務局企画委員会編集部
住所/湯布院町川上2863
TEL/85-4748 FAX/85-4759
E-mail/zd21yufu@dream.ocn.or.jp
H.P/http://sky.geocities.jp/zd21yufu/

平成21年度 事業計画が決定しました!

基本理念 0歳から100歳まで・・・子どもたちの未来を育む、やすらぎの町づくり

- 人材育成ゆふいん財団は、未来へ向けていつまでも平和で豊かな社会であり続けるために、お互いの暮らしや地域との関わりあいを深めていくことが大切であると考え、そのような社会の実現に向けて「人」を育む環境を整えていくという役割を担うものです。
- 設立以降、この基本理念のもと事業を推進してきました。そこで、平成21年度事業も設立当時の想いを大切にしながら、継続して取り組んでいきます。

1. ふれあい学習事業

- これまで環境をテーマにした様々な体験学習を行ってまいりましたが、類似事業と協働できず、参加者自身が戸惑いを感じる場面もありました。
- そこで、学校の社会教育プログラムと連動し、地域に根ざした伝統文化や人々と触れ合い、多様な生き方を学ぶ「環境教育」をテーマにした参加体験型学習の実施を検討していきます。

2. 国際ふれあい交流事業

- 小・中学生という多感な時期に故郷・湯布院を離れ、文化や言葉の違う他国を訪れることにより、改めて自分の住む湯布院、日本について興味・関心を抱くこと、また、国際化が進む中、子どもたちの将来へ向けて国際感覚を育てていくことを目的に実施していきます。
- 平成20年度「第7回ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団」派遣事業は、韓国・水原市の梅賢中学校との交流を予定していましたが、交流直前に竹島問題の影響により水原市長より交流中止願いが届きました。
- しかし、これをきっかけにできた水原市役所国際通商課との関係を保ち、再度平成21年度「第8回ゆふいん～アジアふれあい交流子ども使節団」において、交流会を実施できるよう準備を進めていきます。

※次号財団ニュースにて具体的な募集をしていきます

3. 情報・ネットワーク事業

- 湯布院地域内の動きを取材し、話題を集め、その情報をきっかけとしたコミュニティー・ネットワークの構築を図っていきます。年に5～6回の情報紙「人材育成ゆふいん財団ニュース」や湯布院地域内の各種団体や個人と連携した広報活動、情報収集を行っていきます。

4. 助成・顕彰事業

- 湯布院地域内において活躍する団体・グループ・個人を対象に、「未来に夢を!助成金公募事業」と称し、叶えたい「夢」実現への支援を行います。
- 情報・ネットワーク事業と連動して、広く一般に呼びかけ、審査の後、上限30万円までの助成金を補助していきます。

※公募要項については財団ニュースにてお知らせします

5. 後援事業

- 湯布院地域内において活躍する団体・グループ・個人を対象に、情報・ネットワーク事業と連動しながら、情報発信や広報支援などを行っていきます。協力金を伴わない後援事業となります。

6. 賛助会事業

- 賛助会員となることで、湯布院地域内における「人材育成」の大切な事業を支えているという認識を常に持ち続けていただきます。
- 会員の募集と共に、財団への理解、協力や支援の輪を広げていくと同時に、会費納入のシステムの見直しをしていきます。

7. 活性化のための事業

- 身の回りを取り巻く環境が社会情勢と共に激しく変化していく中、「人」に焦点をあて、大きなリーダーシップより小さなリーダーシップを数多く育成することを目的に推進していきます。

平成20年度 収支決算書

4月14日に監査委員の土屋誠司氏・久保博義氏による監査会が行われ、平成20年度の収支決算が取りまとめられました。

基本財産を取り崩しながらも、精一杯事業を行っておりますが、なかなか財産を増やしなから、さらにその財産を様々な人材育成に活用していくまでには至っておりません。

しかし、今年度も事業計画の基本理念にそって、事業を推進していくと共に、「賛助会木綿の会」の方々

やご寄付をいただいた方々の賛同が得られるような取り組みに精進していきたく思います。

今後、公益法人の認定申請を一刻も早く進めていきます。これまで以上に、社会的に信頼性の高い法人となり、皆様のご期待に添えるようにがんばっていきたく思います。

もし、質問・ご要望等がございましたら、財団事務局及びお近くの役員までお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

科目		予算額	決算額	備考
1 事業活動収支の部				
1) 事業活動収入				
①基本財産運用収入	基本財産利息収入	490,000	492,109	
②会費収入	賛助会会費収入	300,000	311,000	個人会員151口、団体会員16口
③事業収入	小冊子事業収入	0	0	
	ふれあい体験学習事業	0	0	
	国際ふれあい交流事業	0	347,960	個人負担15,000円、お餞別95,000円、パスポート申請他
	情報ネットワーク事業 活性化事業	0	12,000	
④補助金等収入	地方公共団体補助金収入	0	0	
⑤寄付金収入	寄付金収入	100,000	162,440	
⑥雑収入	受取利息収入	300	7,008	
	雑収入	0	0	
事業活動収入計(A)		890,300	1,332,517	
2) 事業活動支出				
①事業費支出				
ふれあい学習事業	ふれあい体験学習事業	200,000	0	
	国際ふれあい交流事業	1,500,000	1,878,459	旅行費用、パスポート申請費用 他
情報ネットワーク事業 助成・顕彰事業	情報ネットワーク事業	600,000	689,149	
	助成事業	350,000	0	
	後援・協賛事業 顕彰事業	0	5,300	
賛助会事業		50,000	17,805	木綿の会々員へ振り込み依頼文書送付
活性化のための事業		10,000	27,000	リレー講演会
②管理費支出				
役員報酬		0	0	
給与手当		2,450,000	2,450,000	
賃金		80,000	22,125	
旅費交通費		50,000	44,088	
福利厚生費		350,000	316,354	
会議・研修費		100,000	19,070	
通信費		170,000	235,591	
消耗品費		150,000	21,639	
賃借料		180,000	164,820	
雑費		55,000	77,390	
事業活動支出計		6,295,000	5,968,790	
2. 投資活動収支の部				
1) 投資活動収入				
①基本財産取崩収入		0	0	
2) 投資活動支出				
①退職給与引当預金支出		50,000	0	
3. 予備費支出		100,000	0	
当期支出合計(B)		6,445,000	5,968,790	
前期繰越収支差額(C)		5,760,662	5,760,662	
当期収支差額		(A-B)	-5,554,700	-4,636,273
次期繰越収支差額		(A-B+C+基本財産取崩収入)	205,962	1,124,389

ゆふいん TOPIC

今年で第12回目となる「ゆふいん文化・記録映画祭」(実行委員長:清水聡二)が今年も湯布院公民館で行われます。

前夜祭では記録映画作家の巨匠、故・土本典昭さんの「ドキュメント路上」、「わが街わが青春-石川さゆり水俣熱唱-」が追悼上映されます。最終日には日本人として必見の映画!82歳の羽田澄子監督が、旧満州まで自ら足を運んで撮りあげた渾身の作品「嗚呼 満蒙開拓団」が上映されます。

また、故・松川八州雄監督を偲んで昨年から創設された「松川賞」は応募総数65作品の中から、5作品が第2回「松川賞」に輝いています。

入場料は、3プログラムセット券が前売りで1,800円(当日2,000円)、1プログラム券が当日販売のみで800円(小中学生は半額)、全日フリーパス券が3,500円。

詳細はゆふいん文化・記録映画祭までお問い合わせ下さい。

ゆふいん文化・記録映画祭
事務局:0977-84-4424

平成21年度 ゆふいん財団 後援事業

第十二回

ゆふいん文化・記録映画祭



<作家の思い>がくっきり見える

第2回 松川賞

2009.5.29~31

映画上映:湯布院公民館
懇親会:乙丸公民館劇場

ゆうゆうたる持続



○各プログラムの前にCM、昔のニュース映画を上映予定。
○各日とも映画の上映は「湯布院公民館」にて、夜の懇親会は「乙丸公民館劇場」にて行ないます。

前夜祭

5/29 (金)

プログラム A 18:30~20:15
<土本典昭監督追悼>
「路上」(54分)
「わが街わが青春-石川さゆり水俣熱唱-」(43分)

20:15~
花の顔見世 懇親会

5/30 (土)	5/31 (日)
プログラム B 10:00~11:40 <松川八州雄監督作品> 「飛鳥を造る」(50分) 「諸橋載次と「大漢和辞典」」(44分)	プログラム E 10:00~11:40 「佐久間ダム(総集編)」(90分)
昼食休けい	昼食休けい
プログラム C 12:30~13:50 「花はどこへいったベトナム戦争のことを知っていますか」(71分)	プログラム F 12:40~14:30 (入場無料) 第2回「松川賞」表彰式 シンポジウム ・受賞者 森達也/吉岡忍/池内了/森まゆみ 他
ゲストトーク 13:50~14:40 坂田雅子監督 x 吉岡忍氏 休けい	休けい
プログラム D-1 14:50~16:50 第2回「松川賞」<入賞作品> 「波の記憶 舟大工 新城康弘の物語」(52分) 「国旗の下に」(60分)	プログラム G 14:50~16:00 「型染め-江戸小紋と長板中形-(30分)」 「木工芸-中川清司のわざ」(33分) こびりタイム(休けい)
夕食休けい	プログラム H 16:40~18:40 「嗚呼 満蒙開拓団」(120分)
プログラム D-2 17:40~20:10 第2回「松川賞」<入賞作品> 「面打/men-uchi」(60分) 「住民票を返せ!」(54分) 「日本の記憶 第二話 盆のはなし」(30分)	ゲストトーク 18:40~19:30 奥村正雄氏
20:10~ 花の盛りの懇親会	19:30~ 花のお名残会

ゆふいん元気!

第59回 ゆふいん温泉まつり



◆優勝した新町2の歓喜の様子

わいわい道中行列の結果報告
優勝:新町2 準優勝:荒木
3位:新町1 彩賞:乙丸2

4月19日に、第59回ゆふいん温泉まつりが花の木通り特設会場で開催されました。わいわい道中行列には8地区が参加しました。昨年春のゆふいん財団ニュース(Vol.47)では「今年は6地区参加。来年は参加が増えるといいね」という声を掲載しましたが、少しずつ参加する地区が増え、盛り上げようとする気運も高まっているような気がします。優勝した新町2自治区のステージパフォーマンスは、大人と子どもが一体となったすばらしい踊りでした!

来年は第60回目という節目を迎えます。お年寄りから子どもまで、たくさんの方々が盛り上がるまつりになるよう期待してまいります。

平成21年度 春季少年少女球技大会



4月29日に春季少年少女球技大会が総合グラウンド、湯布院中学校北側グラウンドで開催されました。地区対抗で各チームの子どもたちや保護者、地域の方々が一体となって、熱戦を繰りひろげました。

子どもたちの「勝ちたい」という気持ち、大人の「がんばれ!」という気持ちがグラウンド中に広がり、大声援に包まれました。湯平地区のアベック優勝!おめでとうございます。

結果報告

- 参加人数:218人(男子132人、女子86人)
- チーム数:男子8チーム、女子6チーム
- 優勝 男子 湯平、女子 湯平
- 準優勝 男子 乙丸、女子 川西

ゆふいん元気！

第11回 子どもメン食い絶叫大会



◆元気よく絶叫する子ども

5月4日に子どもたちが手づくりのお面をかぶり、思いのたけを叫ぶ第11回子どもメン食い絶叫大会が開催されました。例年新緑が映える由布岳を見ながらレンゲ畑で行われていましたが、あいにくの雨でクアージュゆふいんで開催されました。

「宿題がんばるぞ!」「パパ大好き」など元気な叫び声が会場内に響き渡りました。ゆふいん料理研究会、湯布院青少年ボランティアサポートセンター、ちよぼらクラブなどの協力のもと、地元野菜を使ったあんかけ焼そばやサツマイモとカボチャでつくった蒸しパンが振舞われました。(主催：ゆふいんファミリー)

第130回 ゆのひら温泉祭り

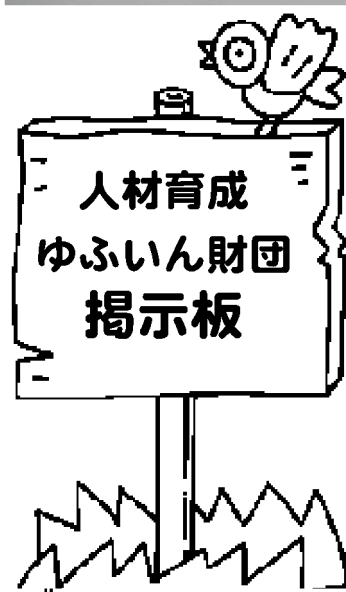


5月16日、17日に第130回ゆのひら温泉祭りが開催されました。1日目の湯平素人劇団(演目/若様と泥棒)では、とても素人とは思えない演技!この芝居を目当てにたくさんの方がお越しになっていました。2日目は、あいにくの雨で「地獄の駕籠かきレース」は石畳の道が滑りやすく仮装のみの審査となり、全部で7組の様々なグループ・団体が参加しました。

子どもから大人まで、老若男女が総出で参加するのが、このゆのひら温泉祭り。化粧して、踊るのが当たり前!それが130回という歴史を重ねる祭りのパワーだとあらためて感じました。



◆橋本 ダンシングオジーン



人材育成
ゆふいん財団
掲示板

新任
ご挨拶



事務局 大澤 直彦

4月からゆふいん財団事務局に就任した大澤直彦と申します。これまでふれあい交流子ども使節団、評議員という立場で財団に携わってきました。

今度は「毎日、事務局として財団運営を考え、力を発揮していきたい」という想いから事務局に志願しました。

これからは『人(心・パワー)』の時代だと考えています。ゆふいん財団の事

寄付のご報告

特別ご寄付をいただきました。

香典返しとして

桑原 カシ子 (川南)	さまより	30,000円
緒方 トヨミ (川南)	さまより	30,000円
浦田 廣 (湯の坪)	さまより	100,000円

ありがとうございました。

財団運営に有意義に活用させていただきます。

業を推進することで、大人の活動や社会貢献を活発化させ、それを子どもの教育に寄与する取り組みにつなげていく。そういった仕組みを何とか構築していきたいと思います。

妻、猫3匹と一緒に岳本地区に住んでおります。まちで出会ったら、どうぞお声をかけて下さい。ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

【編集後記】

『人間、ものは言いようです』

もの心ついてからこっち、極端に平和主義の私は、藤吉郎よろしく、ふつくら(ふところ)の左肺の辺りに、冷えないようにいつもこの名句を携えております。

「人は誰しも自分がいちばん可愛い。だからこそ、思いつくままに練りのない言葉を発して、心内を揺すぶられた相手の表情や気配を一瞬でも感じたたくないはずだ。」と力説してみても、

はやい話が相手をガッカリさせたくないのです。いつも必死に言葉を選んでしゃべろうとする私は、よほど気が弱いか“げってん”なのでしょう。

ともあれ、新事務局大澤氏には大いに期待するところですが、前任ほどの華や愛嬌は荷が重くても、持ち前のガッツと機転で、必ずや財団に新風をもたらしてくれると確信します。

ゆふいん財団理事*麻生時寿